

## 令和5年度 第1回

# 帯広市廃棄物減量等推進審議会 議事録

(概要)

日時 令和5年8月1日(火)

午後4時～

会場 帯広市役所10階 第6会議室

○ 出席委員(13名)

有働委員、兼子委員、木川委員、齋藤委員、  
佐々木委員、佐藤委員、高田委員、高山委員、  
中條委員、松原委員、水上委員、米山委員、  
渡邊委員

※欠席者2名

○ 事務局 篠原都市環境部長、高橋都市環境部参事、林中環境室長、  
大林清掃事業課長、桑嶋清掃事業課課長補佐、土田主任、  
吉川専門員、西本専門員

○ 傍聴等 報道関係者1名

## 1 開会

## 2 委員・事務局紹介

## 3 帯広市廃棄物減量等推進審議会について

・帯広市廃棄物減量等推進審議会の目的、法的位置づけ、これまでの経過と今期の予定等について事務局より説明。

## 4 正副会長の選出

・帯広市廃棄物の処理及び清掃に関する規則第3条第1項に基づき、委員の互選により会長に渡邊委員、副会長に木川委員が選出された。

## 5 正副会長挨拶

## 6 議事

・同規則第3条第2項に基づき、以後の議事は会長が進めた。

### (1) 報告事項

#### ア 産業廃棄物と一般廃棄物について

・産業廃棄物と一般廃棄物について、事務局より説明。

#### ○意見・質疑

なし

#### イ 令和4年度帯広市一般廃棄物処理実施計画に基づく取組の評価について

・令和4年度帯広市一般廃棄物処理実施計画に基づく取組の評価について、事務局より説明。

#### ○意見・質疑

委 員)

1人1日あたりのごみ排出量は減っているとのことだが、ごみの総排出量はどのような状況なのか？

事務局)

ごみの総排出量は、令和3年度 54,815 t、令和4年度 53,789 t であり、総量としては減少している。事業系ごみについては、コロナの影響により減少しているものと考えている。

会長)

家庭系ごみについてのコロナの影響は？

事務局)

令和2年度は、いわゆる巣ごもり需要の影響で家庭系ごみの量は増加した。その後、令和3年度、4年度と減少傾向にある。社会活動が回復しつつあるので、これまでの傾向に戻ってきているものと考えている。

委員)

エコエコ紙芝居は市役所単体で実施しているものなのか？

事務局)

市役所単体で行っている。保育所や放課後デイサービスなどがホームページを見るなどして申し込まれており、過去に実施していた団体がコロナで申込を控えていた所からも再開の連絡をいただいている。

委員)

各指標(1人1日あたりのごみ排出量、リサイクル率、最終処分量)について、帯広市一般廃棄物処理基本計画の中で令和11年度の目標値を定めているが、令和2年度から4年度までの3年間の数値の傾向と比較すると、令和11年度の目標達成は無理があるように見える。ここ数年コロナの影響などの特殊要因もあると思うが、このような場合、一般企業だと目標値を見直すことが多いと思う。目標値の見直しは行わないのか？

事務局)

ご指摘のとおり、3つの指標全てにおいて、目標値に向けて順調に推移して

いるとは言えない状況である。帯広市一般廃棄物処理基本計画では、「一般廃棄物の処理に関わる状況に大きな変動があった場合、必要に応じて見直しを行う」としており、計画期間の中間年を目安に見直す可能性はあるが、現時点で目標値を見直すことは考えていない。

会 長)

これらの実績値と目標値については、今後においても繰り返しテーマになると思うので、気になることがあればその都度ご意見等伺いたい。

委 員)

市販されている電動生ごみ処理機は様々なものがあるが、新製品についても購入助成の対象になるのか？

事 務 局)

制度に沿って手続きを行った販売店からの申込みに応じて、登録した製品を対象として販売助成を行う仕組み。今年度は2製品が新たに助成の対象となっている。

会 長)

今のようなテーマは、この場でご意見をいただくことで実現に向けての検討材料になることもあり得るので、気がついたことがあれば次回以降も活発な発言をお願いしたい。

委 員)

一人一人が意識しながら生活することで、指標の項目（1人1日あたりのごみ排出量、リサイクル率、最終処分量）は良い方向に推移し、ごみの総排出量が減少することになると思う。牛乳パックなどは飲み切ってから中身を洗って乾かして、資源物として排出することになっているが、面倒だからとそのまま燃やすごみとして捨てている人もいるとすれば、このような面倒さを解消すれば、リサイクルに回るかもしれないといったこともあると思う。

私自身、新たに委員となった身なので、皆様から伺ったり学んだりしながら、

ごみ・資源物の回収方法やリサイクルの仕組みなどを理解して、3Rの推進について様々な視点から考えていきたいが、この審議会は今後どのようなことを議論する場になるのか？

会 長)

審議会を開催する年度やその時々で、いろいろな議題やテーマが提案される。その中で、例えばリサイクルに関わるテーマが出てくれば、委員の皆様にご意見を伺うことになる。伺った意見を踏まえて、実際に市の施策に反映される。

その他、委員の皆様から提案されたテーマについて話したいという声があれば、そのことについて議論することもできる。この場では廃棄物に関する施策について、かなり幅広く議論することができるものと考えていただきたい。

委 員)

リサイクル品目についての確認だが、帯広でのリサイクル品目を具体的に教えて欲しい。

事 務 局)

帯広では、資源ごみを回収する「Sの日」に回収する品目（プラ製容器包装・紙製容器包装・缶類・びん類・ペットボトル・紙パック類・雑誌チラシ類・新聞紙・段ボール）である。

会 長)

更に補足すると、汚れていないということも条件になる。汚れているものは資源化できないという点などについては、実際にリサイクルの処理工程となる現場を見ないとイメージがわからないと思う。この審議会では、見分を広げるために施設見学などを行うことも過去にはあった。委員の任期中に廃棄物の中間処理施設を見てもらうのが良いと思うので、検討していただくよう事務局へお願いしたい。

## (2) その他

### ○意見

委員)

私の町内会では、ごみステーションでカラスよけサークルを使用してもあまり効果がなく、カラスが散らかすなどして困って清掃事業課に相談したことがある。おもりを使ってしっかりネットを押さえるようにすることで、カラスがつついたり引っ張ったりしてもネットを動かさなくなり、散らかすことがなくなった。そのうちカラスも全く来なくなった。

カラス被害に遭っているステーションはたくさんあると思うが、カラスよけサークルやネットをきちんと使用することで、カラス被害を防止できることを学んだので、そのことを皆さんにお伝えしたい。

- ・今後の予定と議事録の公開について、事務局より説明。

閉会